



博物館では冬季間、灯油ストーブのほかに暖炉を使用しています。今年の中茶安別の丸山さんと日野組さんよりまきをいただきました。感謝申し上げますとともに、暖炉にまきをくべながら皆さんのお越しをお待ちしています。(坪)

## 博物館講座 クルミキャンドルをつくろう



ニタイ・トでは、クルミの殻を使ったキャンドルとリスの形をしたメッセージカードを製作する講座を行います。完成品はラッピングをして持ち帰ることができます。

自宅に飾ってよし、手作りのクリスマスプレゼントにしてもよしのクルミキャンドル作りをぜひ体験してください。参加希望の方は、事前に博物館までお申し込みください。

※定員数に達した時点で募集を締め切ります。ご了承ください。

■日 時 / 12月7日(出)、午後1時30分～3時

■定 員 / 8人 (小学生以下は大人同伴)

■申込締切 / 12月6日(金)



支部長 久留三男三  
(久留家所蔵)

ニタイ・トからのお便り  
第5号でご紹介した近世近代人物伝の「軍馬補充部川上支部支部長、久留三男三氏」について、名字が久米(くめ)となっておりました。正しくは久留(くる)です。関係者をはじめとする皆さんに、深くお詫び申し上げます。

また、掲載にあたり久留氏の親戚の方からご連絡をいただき、氏について新たな情報をご教示いただきました。機会を改めてご紹介したいと思っております。

ニタイ・トからのお便り  
第5号  
(広報しべちゃ9月号) 掲載  
「しべちゃ※しろ」と  
記事の訂正について

# 収蔵庫整理が 終わりました

11月7日にニタイ・トを臨時休館し、職員総出で収蔵庫の整理を行いました。作業はほぼ丸1日かかり、備品の整理や収蔵庫内の清掃などを行いました。



今回整理を行った収蔵庫は、収蔵資料のほかに胴長などの調査道具が置かれている場所です。整理作業により必要な資料や道具がいつでも取り出せるようになりました。

## しべちや写真館



三笠市立博物館にある合葬之墓



標茶壺園にある合葬者之墓

### 「合葬者之墓」

この合葬者之墓が北海道集治監釧路分監により建立されたのは、今から120年前となる明治32年のことです。明治18〜29年の間に死亡した393人の受刑者が合葬されています。なお、三笠市立博物館には北海道集治監空知分監の合葬之墓が展示されています。空知分監により明治29年に建立されていますが、ほぼ同じデザインで作られており共通性があります。

撮影／平成24年8月7日  
場所／標茶市街（標茶壺園）  
所蔵／博物館

## 野鳥観察のすゝめ

暖かい季節が終わりあつという間に寒い季節になりましたね。紅葉が終わり、緑のない景色に寂しさを感じる方も多い時期かもしれませんが、実は今こそ野鳥観察にはぴったりの季節です。

### 冬は野鳥が見つけやすい！

木々が葉がない冬季は野鳥が見つけやすく、初心者でも簡単に野鳥観察が楽しめます。これが夏になると葉が生い茂り野鳥も葉の陰に潜んで観察しにくくなります。特にカラ類（シジュウカラやゴジュウカラの仲間の野鳥の総称）のような小型の鳥は動きも速いため、葉っぱなどの障害物が多いと観察の難易度が一気に上がります。今の時期に見ることができると野鳥は一年中見ることができない「留鳥」と日本へ越冬しに飛来してくる「冬鳥」です。時期によっては一時的に羽休め目的で留まっている「旅鳥」が観察できます。

ただし野鳥を見つけた途端「あー」などと大声をあげるとすぐに逃げてしまいます。また、むやみに野鳥や巣に近づく行為や、おびき寄せることを目的とした餌付けなどはマナー違反です。

### 野鳥観察に必要な物

- ・防寒着：冬は寒さ対策をしっかりしないと大変です。時には「粘る」こともあるのでカイロなどを持っていると安心です。
  - ・双眼鏡：野鳥観察には8〜10倍の物が最適とされています。湖で水鳥を観察する場合など双眼鏡では足りない場合は、望遠鏡の一種であるフィールドスコップが必要です。
  - ・メモ帳：雨にも強い野帳（フィールドノート）を使う人が多いですが、鳥の名前や特徴を書き残しておける物だったら何でもいいです。
  - ・凶鑑：鳥の種類を確認するために必要です。
- 以上が最低限必要な持ち物です。

この冬からぜひバードウォッチングを始めてみてはいかがでしょうか。



ハシブトガラ



ゴジュウカラ